

令和8年度

南小松島小学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○他者との関わりを通して、相手の思いを自分事として受け止め、共感的に聞き合う力を養う。
 ○自身の思考や表現を支える語彙力を培い、目的意識をもって主体的に学びに向かう児童を育てる。

校長

西山 稔江

学力向上推進員

小牧 祐里

【各校の取組状況の把握について】

校内研修やメンター等、様々な機会を捉え、取組み状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○決められた課題に真面目に取り組む児童が多く、基礎的な知識の定着に向けた下地がある。</p> <p>●学習規律が整っておらず、聞く力が不十分である。語彙力も低く、学習に取り組む姿勢が持続しない。</p>	<p>・良い姿勢や聞く態度の定着</p> <p>・語彙力を培い、正確に読む・書く・話すことができる。</p>	<p>・朝活などを活用し、年間を通じた計算練習や音読などで、基礎知識を反復し、学びの土台を固める。</p> <p>・姿勢を正し最後まで聞く傾聴トレーニングの実施や集中を妨げない環境作りを行う。</p> <p>・作文・対話・読書などの言語経験の場を増やし、語彙を広げる。</p>			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○自分の生活経験と学習内容を結びつけて考えようとする姿勢があり、自分のことを言葉で伝えようとする意欲が高い。</p> <p>●友達の意見を比較・吟味する「聞く力」が弱く、考えが深まりにくい。自分の考えを伝えることに満足し、相手の反応を受けて判断を修正する力が不足している。</p>	<p>・生活経験や既習事項と結びつけて、自分の考えを多様な方法で表現・発信することができる。</p> <p>・友達の意見を尊重して聞き、自分の考えと比較しながら、納得解や新しい気づきを見つけることができる。</p>	<p>・目的を共有した上で、ペア学習やグループ学習の機会を効果的に設定する。</p> <p>・児童の発言や発表の内容に応じ、他者からの問い返しや質問の時間を設け、児童の考えを深めさせる。</p>			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○学習意欲そのものは高く、自分が興味のある内容や身近な事柄について話そうとする児童が多い。</p> <p>●他者との関わりを通して、自分の課題を見つけて振り返り、粘り強く取り組む力が弱い。</p>	<p>・他者の考えを自分事として受け止めて聞き、探求意欲を高め、自分の課題を見出したり振り返ったりすることができる。</p> <p>・学習課題に対して必要感や目的・相手意識をもち、自分の力で粘り強く課題を解決しようとする。</p>	<p>・生活経験と学習内容を結びつけた課題設定・まとめ・振り返りを意識して実施する。</p> <p>・ICTや思考ツールを活用し、成果を共有したり、発表(評価をもらう)したりする場を工夫する。</p> <p>・具体的な目標をもって学び、学習に対する達成感を味わうことができるようにする。</p>			